

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 【推計人口】11月

令和7年11月1日の推計人口	1,233,587 人
世帯数	557,963 世帯
(参考)	
R2.10.1 現在国勢調査総人口	1,312,317 人
世帯数	558,230 世帯

### 1. 推計人口

令和7年11月1日現在の推計人口は1,233,587人で、前月(1,234,361人)に比べ△774人となった。

市部では、長崎市(△299)、佐世保市(△146)など、11市で減少した。

郡部では、長与町(△52)、川棚町(△43)など、8町で減少した。

自然動態は、出生数627人、死亡数1,586人で△959人、社会動態は、転入者数2,865人(県内転入を含む)、転出者2,680人(県内転出を含む)で、+185人となった。

### 2. 世帯数

令和7年11月1日現在の世帯数は、557,963世帯で前月(558,102)に比べ△139世帯となった。

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

## 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】9月

1人当たり現金給与総額	273,156 円
対前月比	1.5 %減少
対前年同月比	6.3 %増加

### 1. 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は273,156円で、前月に比べ1.5%減少し、前年同月に比べ6.3%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は270,068円で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ6.1%増加した。

特別給与額は3,088円で、前年同月に比べ、400円増加した。

### 2. 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は142.4時間で、前月に比べ5.4%増加し、前年同月に比べ0.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は132.6時間で前月に比べ4.9%増加し、前年同月に比べ、0.5%増加した。

所定外労働時間数は9.8時間で、前月に比べ11.3%増加し、前年同月に比べ4.9%減少した。

### 3. 雇用

9月の常用労働者数は221,114人で、前月に比べ0.4%減少し、前年同月に比べ0.0%の同率であった。

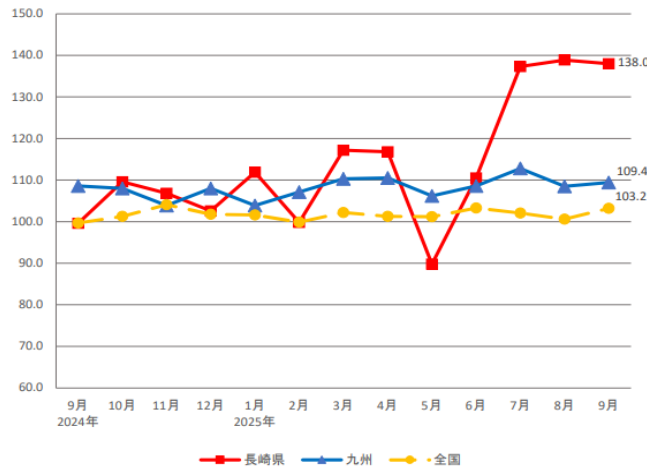
【鉦工業生産指数】 9 月

令和7年9月の鉦工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整済指数	前月比	原指数	前月同月比(%)
		(%)		
長 崎 県	138.0	△ 0.6	144.4	38.8
九 州	109.4	0.2	118.4	3.3
全 国	103.2	2.6	107.5	3.8

鉦工業生産指数の推移（季節調整済指数）



2025年9月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が138.0で対前月比は0.6%の低下、原指数は144.4で対前年同月比は38.8%の上昇となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、繊維工業、情報通信機械工業など7業種が上昇し、電気機械工業、化学工業、鉦業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	25.0	ボイラの部品・付属品
繊維工業	16.3	漁網・陸上綱
情報通信機械工業	14.7	-

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△ 30.4	交流発電機
化学工業	△ 19.8	-
鉦業	△ 17.1	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。  
寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。  
(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】 10月

総合指数 (R2=100)	113.3
対 前 月 比	0.3 % 上昇
対 前 年 同 月 比	3.2 % 上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年（令和2年）を100として、113.3で前月比0.3%の上昇であった。

主な上昇要因は「家事・家事用品」の2.6%上昇、「教養娯楽」の1.0%上昇であり、主な下落要因は、「被服及び履物」の0.8%下落、「保健医療」の0.1%下落であった。

前年同月比は、6月は3.5%、7月は3.3%、8月は2.9%、9月は3.4%上昇と推移した後、10月は3.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は112.4で前月比0.3%の上昇であり、前年同月比は3.5%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目	
家具・家事用品	2.6 %
教 養 娯 楽	1.0 %
交 通 ・ 通 信	0.6 %
光 熱 ・ 水 道	0.4 %
諸 雑 費	0.5 %

同水準の費目	
住 居	±0.0 %
食 料	±0.0 %
教 育	±0.0 %

下落した費目	
保 健 医 療	△ 0.1 %
被 服 及 び 履 物	△ 0.8 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計（長崎市・勤労者世帯）】 10月

消費支出（一世帯当たり）	350,555 円
前 月 比	18,548円増加（5.6%）

令和7年10月の長崎市・勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の消費支出は350,555円で、前月比5.6%の増加、前年同月比は25.2%の減少であった。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は81.6%であった。

(注) ”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。